



県内経済情勢 (令和2年4月判断)

令和2年4月27日

財務省関東財務局
千葉財務事務所

照会先

千葉財務事務所 財務課 (TEL:043-251-7213)

ホームページ <http://kantou.mof.go.jp/chiba/>

1. 総論

【総括判断】「県内経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、経済活動が抑制されるなか、足下で急速に下押しされており、極めて厳しい状況にある。」

項目	前回（2年1月判断）	今回（2年4月判断）	前回比較
総括判断	一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに回復しつつある。	新型コロナウイルス感染症の影響により、経済活動が抑制されるなか、足下で急速に下押しされており、極めて厳しい状況にある。	

（注）2年4月判断は、前回1月判断以降、4月に入ってから足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいる。生産活動は足踏みの状況にあったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、足下で減産の動きがみられ始めている。雇用情勢は改善のテンポが緩やかになっている。

【各項目の判断】

項目	前回（2年1月判断）	今回（2年4月判断）	前回比較
個人消費	緩やかに持ち直しつつある。	新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいる。	
生産活動	持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている。	足踏みの状況にあったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、足下で減産の動きがみられ始めている。	
雇用情勢	改善している。	改善のテンポが緩やかになっている。	
設備投資	元年度は増加見込みとなっている。	元年度は増加見込みとなっている。	
企業収益	元年度は減益見込みとなっている。	元年度は減益見込みとなっている。	
企業の景況感	「下降」超で推移している。	「下降」超で推移している。	
住宅建設	前年を下回っている。	前年を下回っている。	
公共事業	前年を下回っている。	前年を下回っている。	

【先行き】

先行きについては、新型コロナウイルス感染症の影響による極めて厳しい状況が続く見込みであり、さらなる下振れリスクにも十分注意する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいる。」

スーパー、コンビニエンスストア及びドラッグストア販売額は前年を上回っているものの、百貨店販売額及び乗用車の新車登録届出数は前年を下回っているほか、新型コロナウイルス感染症の影響により、娯楽業や宿泊業等の集客数が落ち込んでいることから、全体としては弱含んでいる。

(主なヒアリング結果)

- 1,2月 は暖冬の影響による青果の相場安の影響もあって客単価が低位であったものの、3月後半以降は外出自粛要請により、家庭内食需要の高まりがあったことで客単価も伸びたことから、前年を上回っている。(百貨店・スーパー、中小企業)
- 1月 は暖冬の影響でコートなどの重衣料や手袋などの防寒グッズが苦戦し、2月 は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、化粧品のタッチアップを中止したことで客単価が低位であった。3月以降は営業時間を短縮しているほか、外出自粛要請で客数も減少していることから、前年を大きく下回っている。(百貨店・スーパー、中小企業)
- 1月 は販促活動の効果や春節におけるインバウンド需要が好調であったものの、2月以降は新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けて予約の伸びが鈍くなるとともに、キャンセルが相次いでおり、客室稼働率は前年を大きく下回っている。(宿泊業、中堅企業)
- 1月 は新たなイベントの開催効果もあって集客が好調であったものの、2月下旬から新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けて臨時休園していることから、客数は前年を大きく下回っている。(娯楽業、大企業)

■ 生産活動 「足踏みの状況にあったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、足下で減産の動きがみられ始めている。」

生産を業種別にみると、食料品、鉄鋼などが増加しているものの、化学などが減少しており、足踏みの状況にあったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、足下で減産の動きがみられ始めている。

(主なヒアリング結果)

- 1,2月 は新商品が好調であったほか、3月以降は新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けて家庭内食需要（緊急物資としての買いだめを含む）が高まったことから、生産量は増加している。(食料品、大企業)
- 1,2月 は前年に設備トラブルがあった影響から対前年比増となったものの、米中貿易摩擦の影響で自動車向け等の需要が縮小していることから、生産量の水準自体は高くない。3月 は前年並みとなったものの、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けて需要への不透明感が増していることから、4月以降は計画の下方修正が生じる可能性が高まっている。(鉄鋼、大企業)
- 3月以降、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けて需要が減少し、生産量は前年を下回っている。(化学、大企業)

■ 雇用情勢 「改善のテンポが緩やかになっている。」

有効求人倍率は1倍を超えているものの、低下している。新規求人数は減少している。

(主なヒアリング結果)

- 営業時間の短縮や催事の延期等により、非正規社員の求人を減らしている。(百貨店・スーパー、中小企業)

■ 設備投資 「元年度は増加見込みとなっている。」

○ 法人企業景気予測調査（2年1～3月期調査）による元年度の設備投資計画額をみると、製造業では前年比増減率▲3.7%の減少見込み、非製造業では同23.4%の増加見込みとなっており、全規模・全産業では同21.1%の増加見込みとなっている。

■ 企業収益 「元年度は減益見込みとなっている。」

○ 法人企業景気予測調査（2年1～3月期調査）による元年度の経常利益（除く「電気・ガス・水道業」、「金融業、保険業」）をみると、製造業では前年比増減率▲28.3%の減益見込み、非製造業では同▲5.3%の減益見込みとなっており、全規模・全産業では同▲7.9%の減益見込みとなっている。

■ 企業の景況感 「『下降』超で推移している。」

○ 法人企業景気予測調査（2年1～3月期調査）による景況判断BSIをみると、全規模・全産業で「下降」超で推移している。2年4～6月期の先行きについては、全規模・全産業で「下降」超で推移する見通しとなっている。

■ 住宅建設 「前年を下回っている。」

○ 新設住宅着工戸数をみると、前年を下回っている。

(主なヒアリング結果)

- 消費税率引上げや台風などの自然災害に加え、新型コロナウイルスの感染拡大による先行きの不安感もあり、大きな買い物を控える動きが続いている。(住宅建設、大企業)

■ 公共事業 「前年を下回っている。」

○ 公共工事請負金額をみると、前年を下回っている。

県内経済情勢 (令和2年4月判断)

(資料)

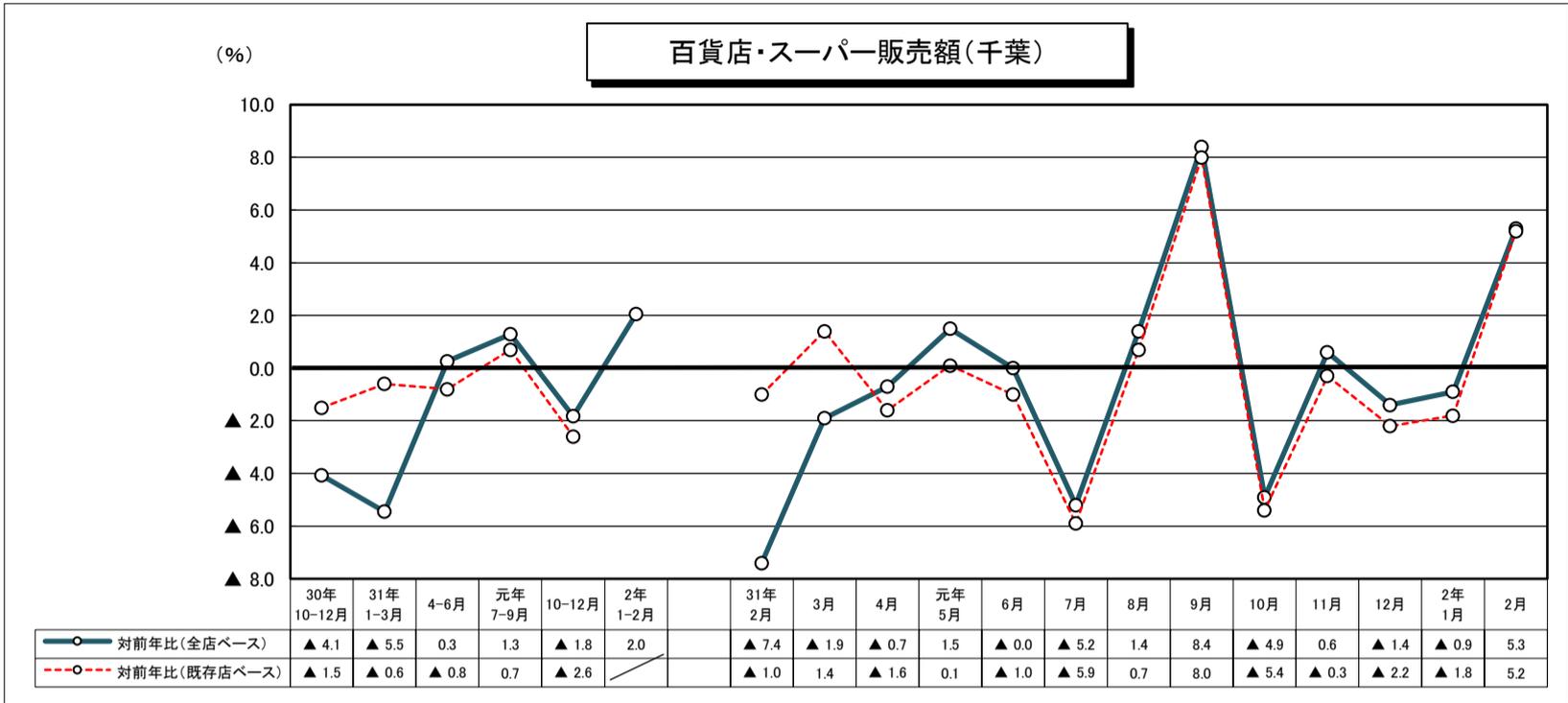
目次	(頁)
1 . 個人消費	1、2、3
2 . 生産活動	4
3 . 雇用情勢	5
4 . 設備投資	6
5 . 企業収益	6
6 . 企業の景況感	7
7 . 住宅建設	7
8 . 公共事業	8
9 . 倒産	8

令和2年4月27日

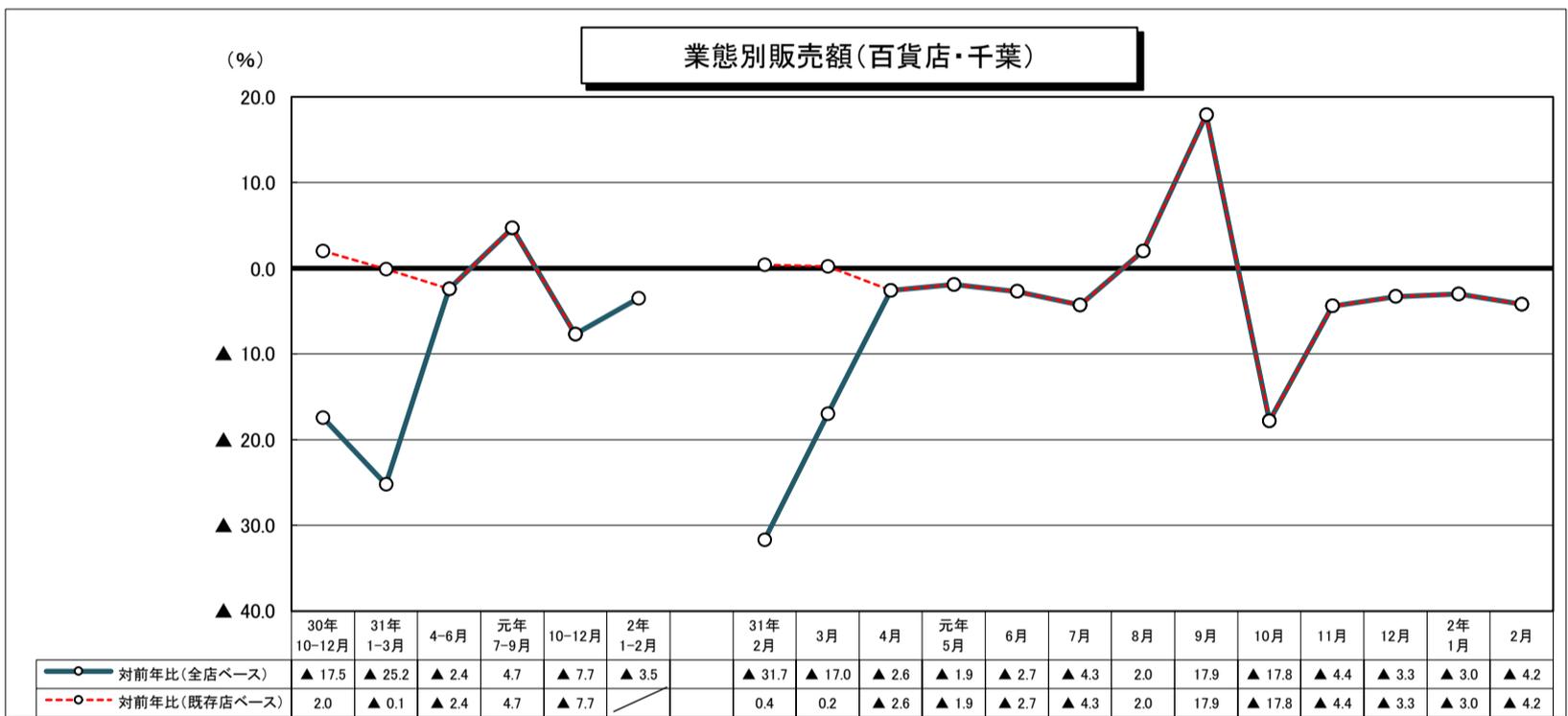
財務省関東財務局
千葉財務事務所

1. 個人消費

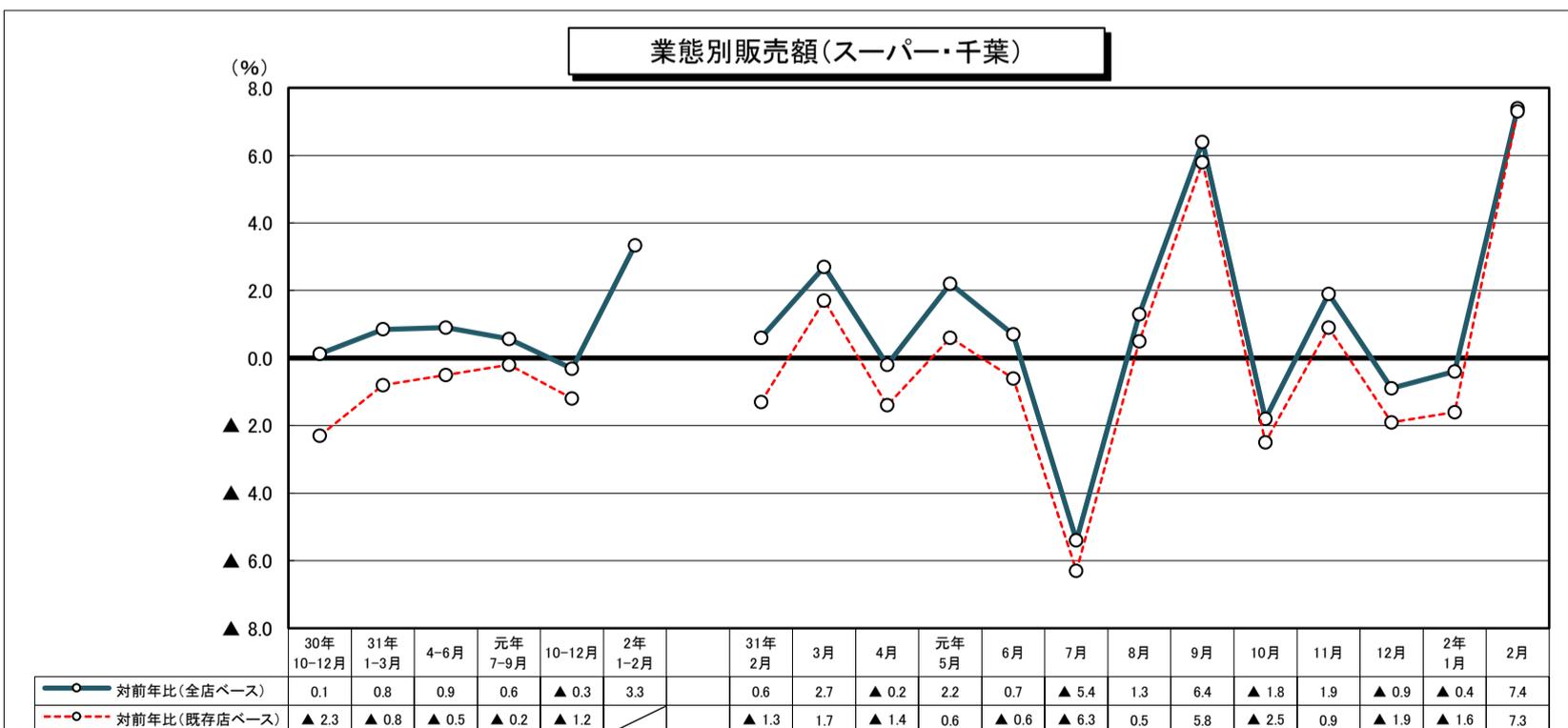
新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいる。



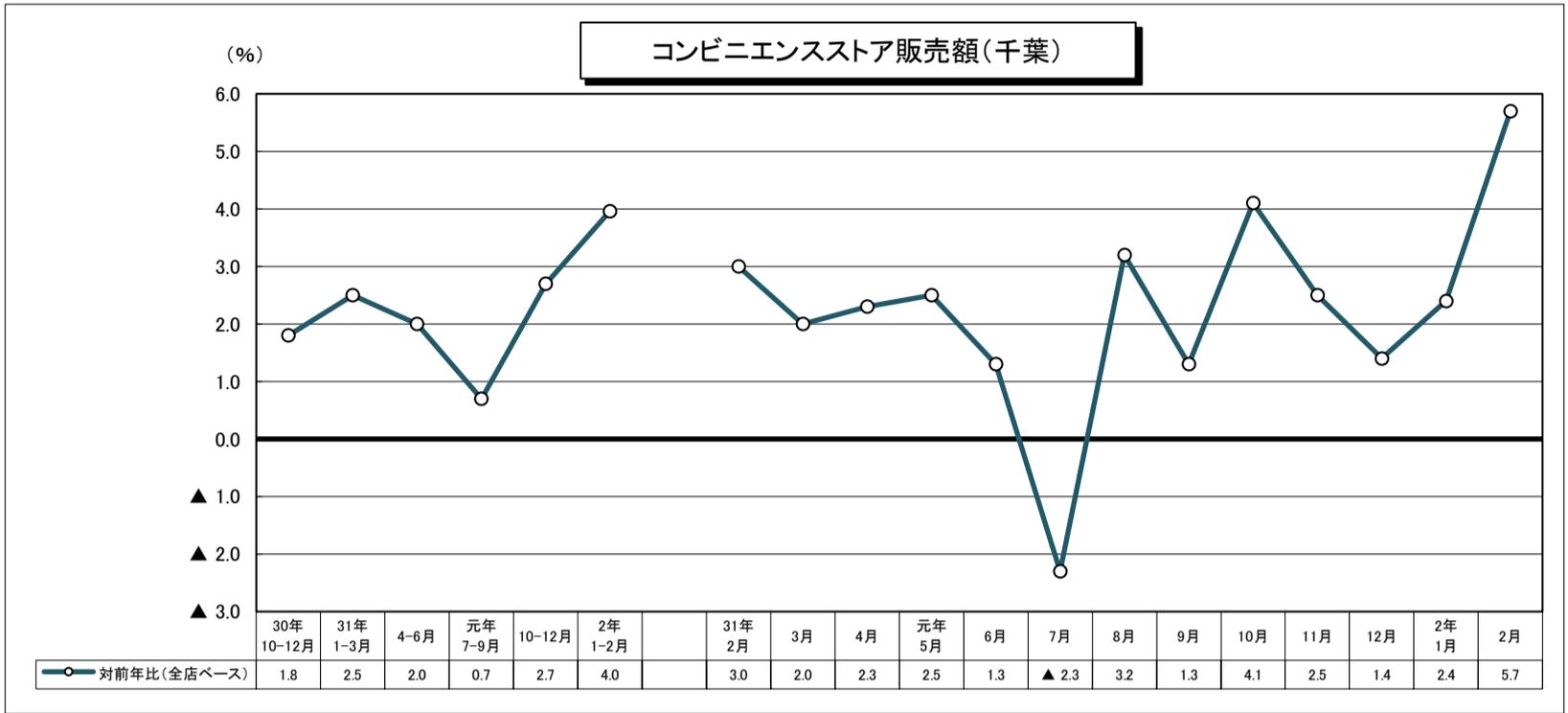
[経済産業省]



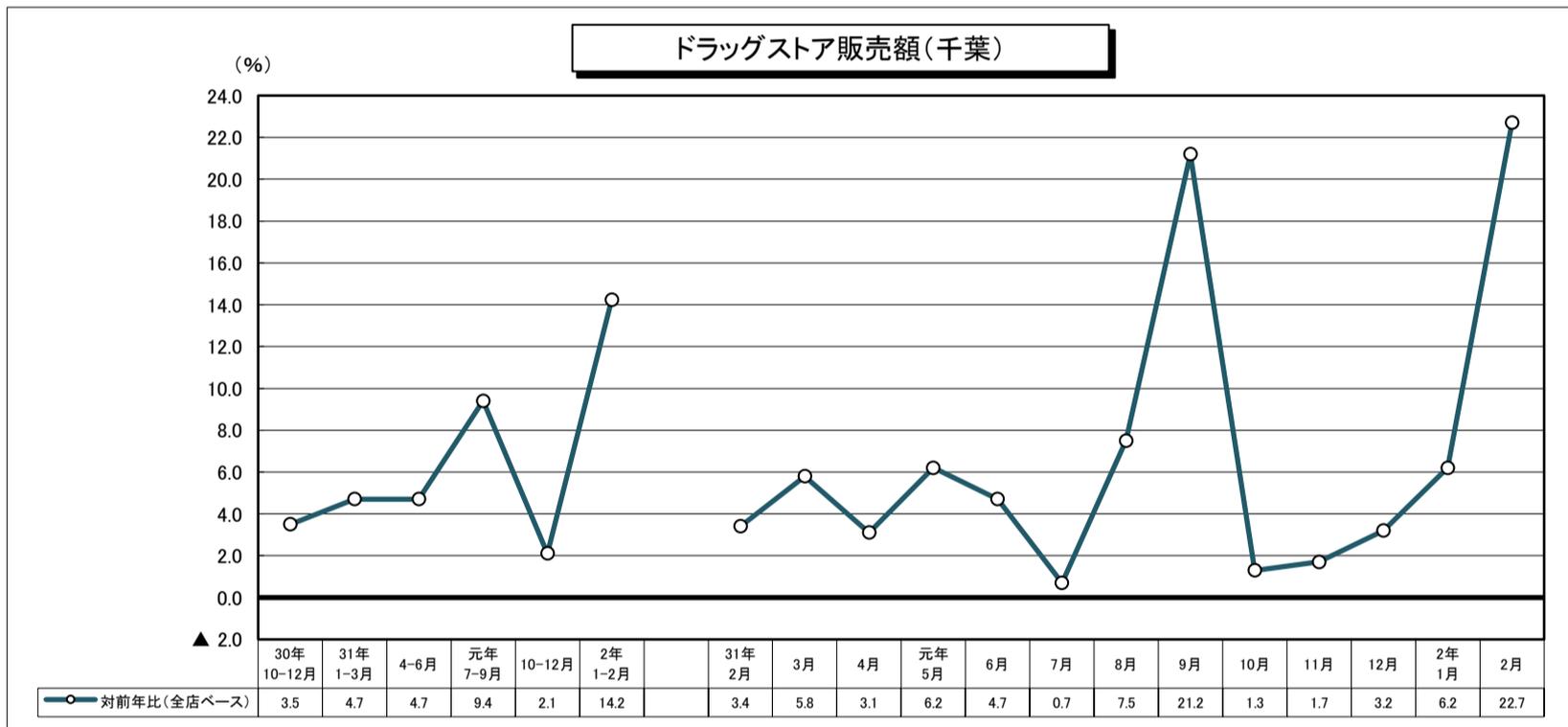
[経済産業省]



[経済産業省]

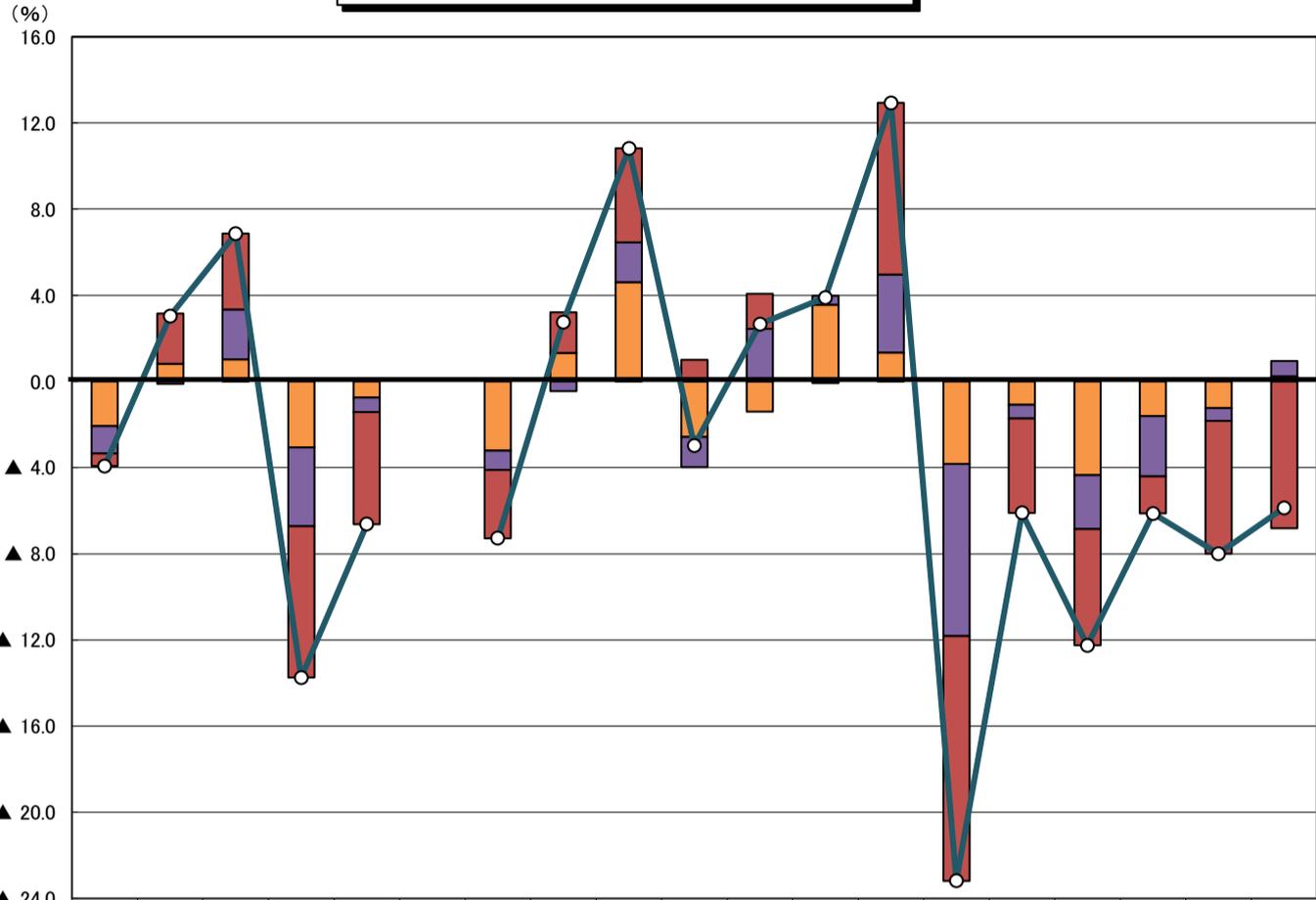


[経済産業省]



[経済産業省]

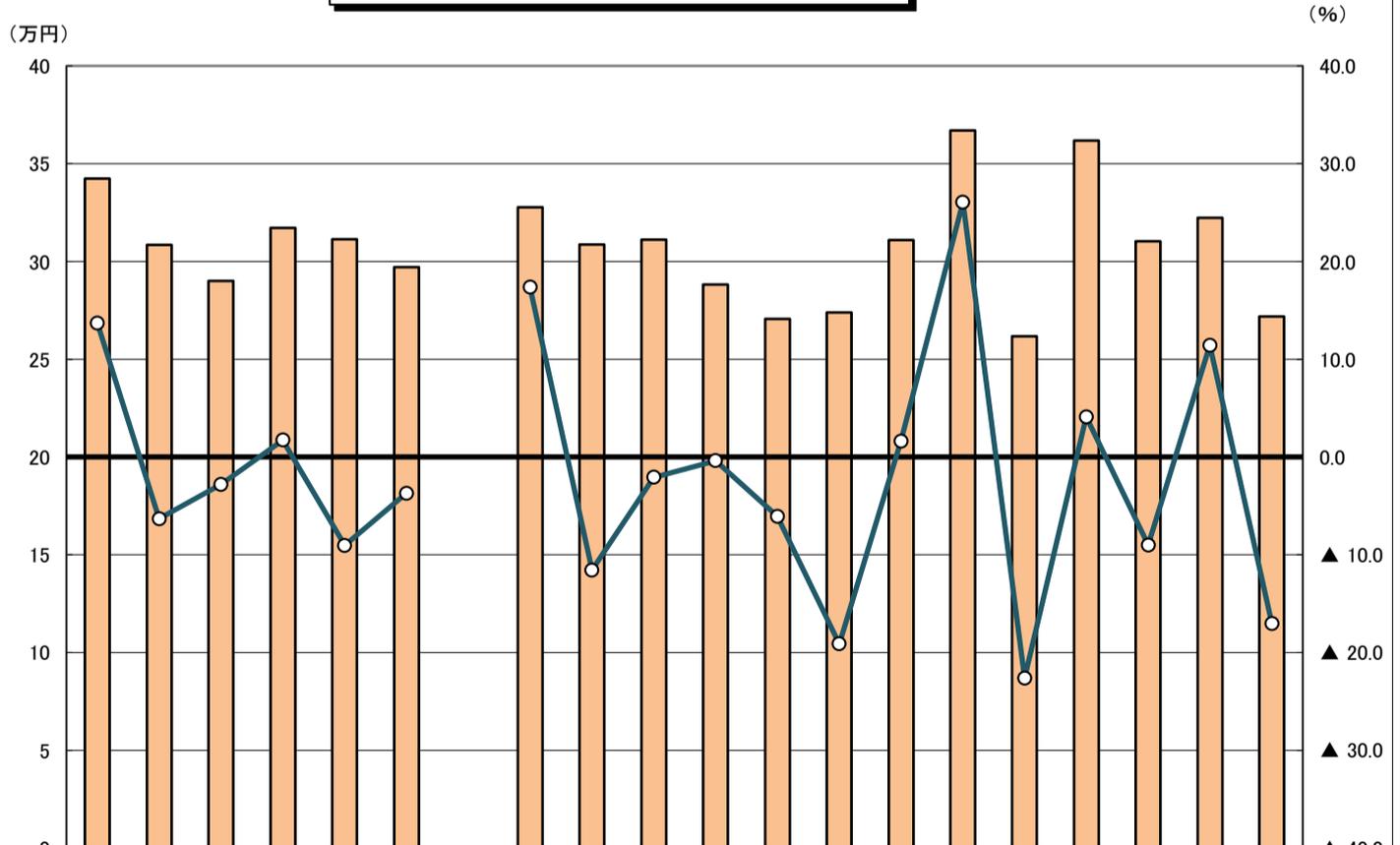
乗用車新車登録届出台数(千葉)



	31年 1-3月	4-6月	元年 7-9月	10-12月	2年 1-3月		31年 3月	4月	元年 5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2年 1月	2月	3月
普通乗用車(寄与度)	▲ 0.6	2.3	3.5	▲ 7.0	▲ 5.2		▲ 3.2	1.9	4.4	1.0	1.6	▲ 0.1	8.0	▲ 11.4	▲ 4.4	▲ 5.4	▲ 1.7	▲ 6.2	▲ 6.8
小型乗用車(寄与度)	▲ 1.3	▲ 0.1	2.3	▲ 3.7	▲ 0.7		▲ 0.9	▲ 0.5	1.8	▲ 1.4	2.4	0.4	3.6	▲ 8.0	▲ 0.6	▲ 2.5	▲ 2.8	▲ 0.6	0.7
軽乗用車(寄与度)	▲ 2.1	0.8	1.0	▲ 3.1	▲ 0.7		▲ 3.2	1.3	4.6	▲ 2.6	▲ 1.4	3.6	1.3	▲ 3.8	▲ 1.1	▲ 4.4	▲ 1.6	▲ 1.2	0.2
全体(前年比)	▲ 3.9	3.0	6.9	▲ 13.7	▲ 6.6		▲ 7.3	2.8	10.8	▲ 3.0	2.7	3.9	12.9	▲ 23.2	▲ 6.1	▲ 12.2	▲ 6.1	▲ 8.0	▲ 5.9

[日本自動車販売協会連合会・全国軽自動車協会連合会]

家計消費支出(千葉市・二人以上の世帯)



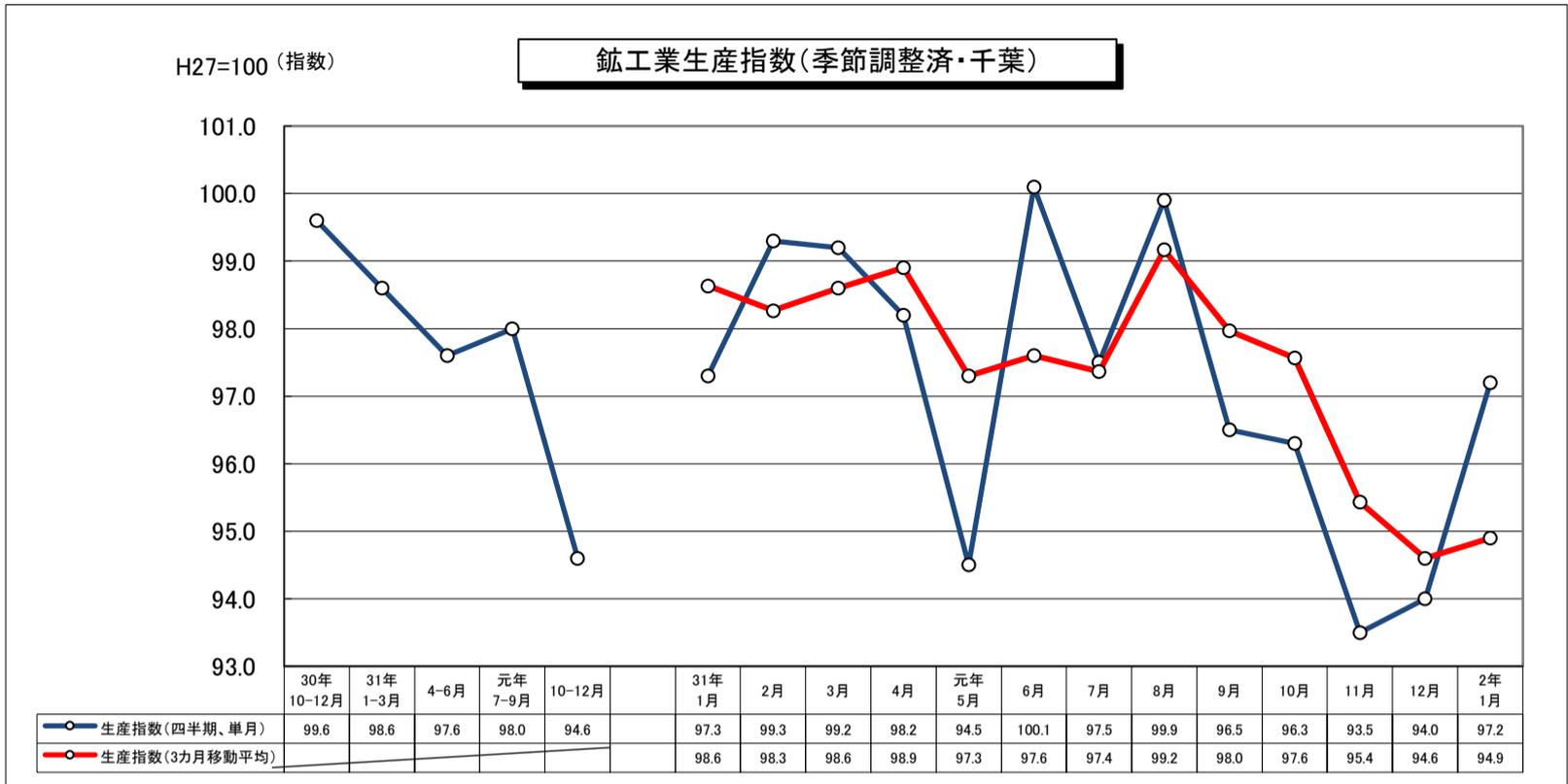
	30年 10-12月	31年 1-3月	4-6月	元年 7-9月	10-12月	2年 1-2月		31年 2月	3月	4月	元年 5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2年 1月	2月
名目消費支出額(円)	342,272	308,512	289,987	317,185	311,263	297,005		327,600	308,719	311,154	288,272	270,535	273,799	310,828	366,927	261,679	361,714	310,396	322,236	271,774
対前年比(右軸)	13.7	▲ 6.3	▲ 2.8	1.7	▲ 9.1	▲ 3.7		17.4	▲ 11.6	▲ 2.1	▲ 0.4	▲ 6.1	▲ 19.1	1.6	26.1	▲ 22.6	4.1	▲ 9.0	11.4	▲ 17.0

(注) 四半期の金額は一月当りの平均

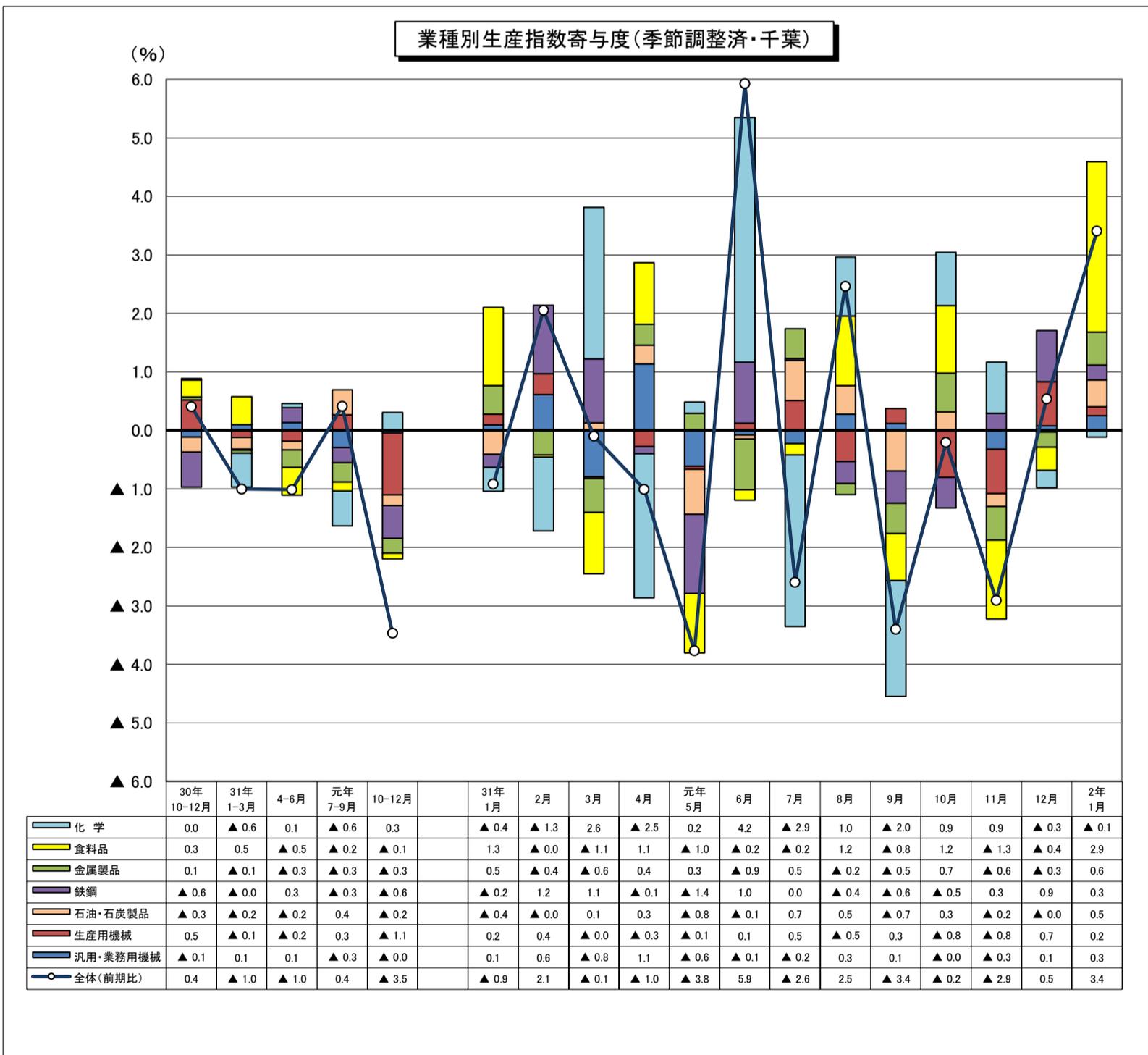
[総務省]

2. 生産活動

足踏みの状況にあったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、足下で減産の動きがみられ始めている。



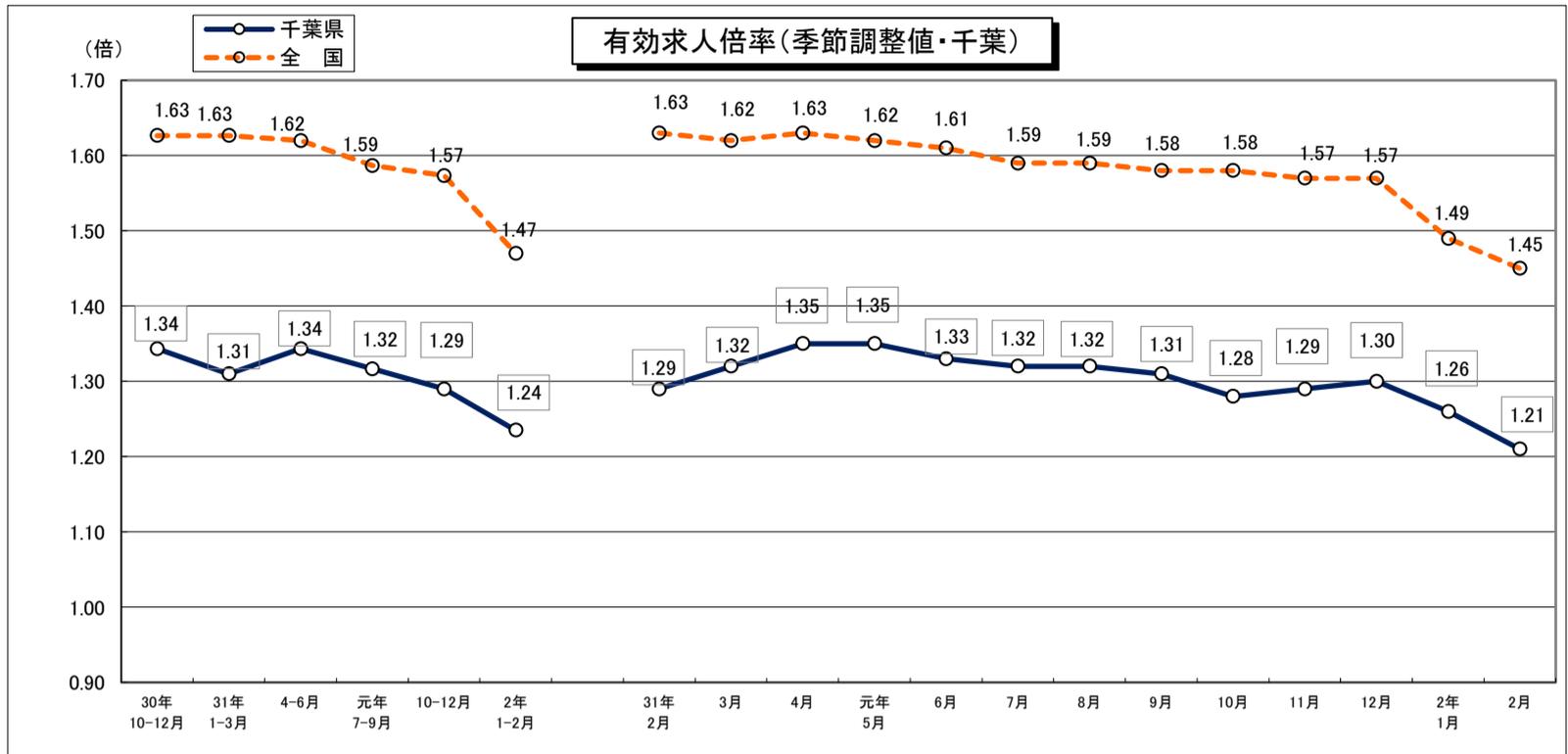
[千葉県]



[千葉県]

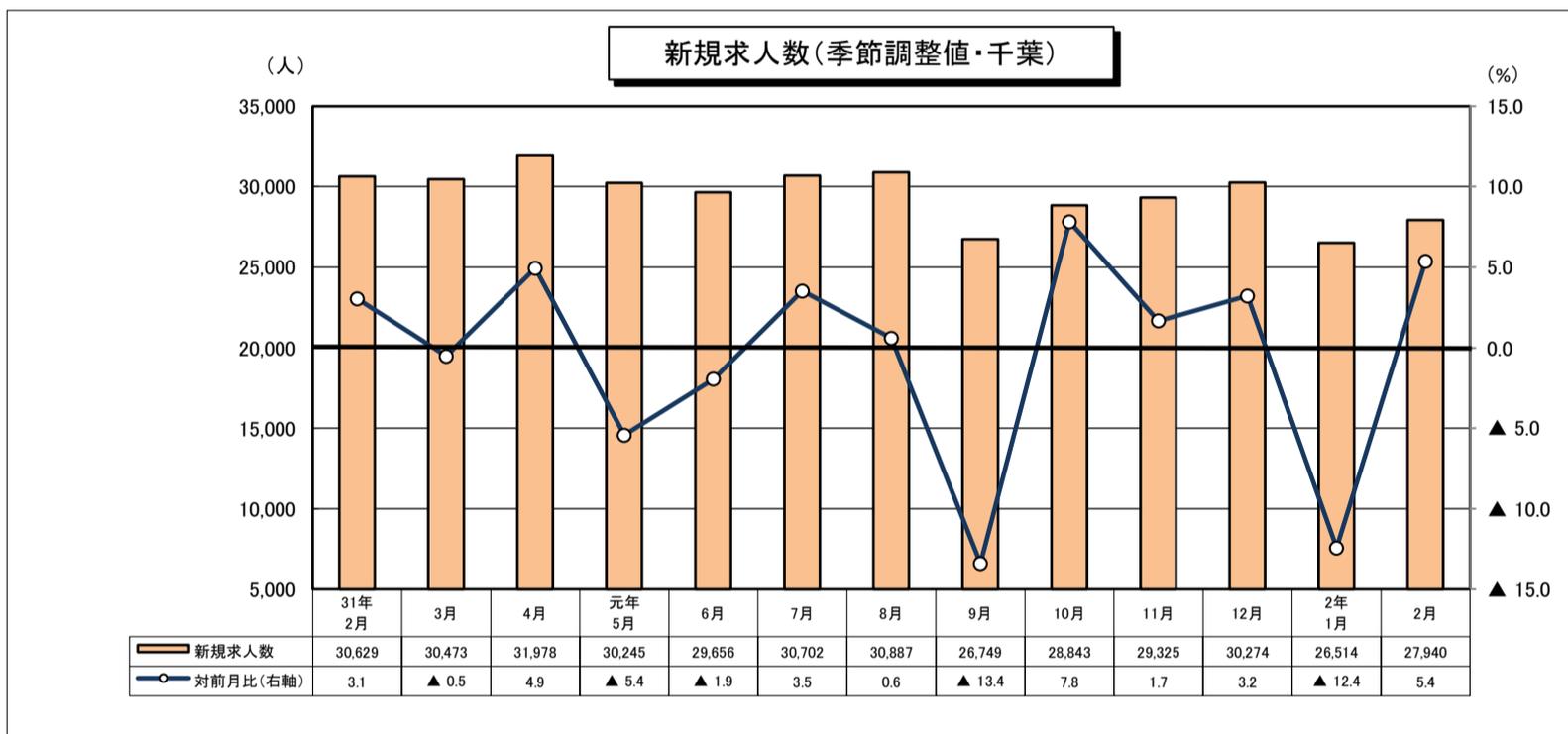
3. 雇用情勢

改善のテンポが緩やかになっている。

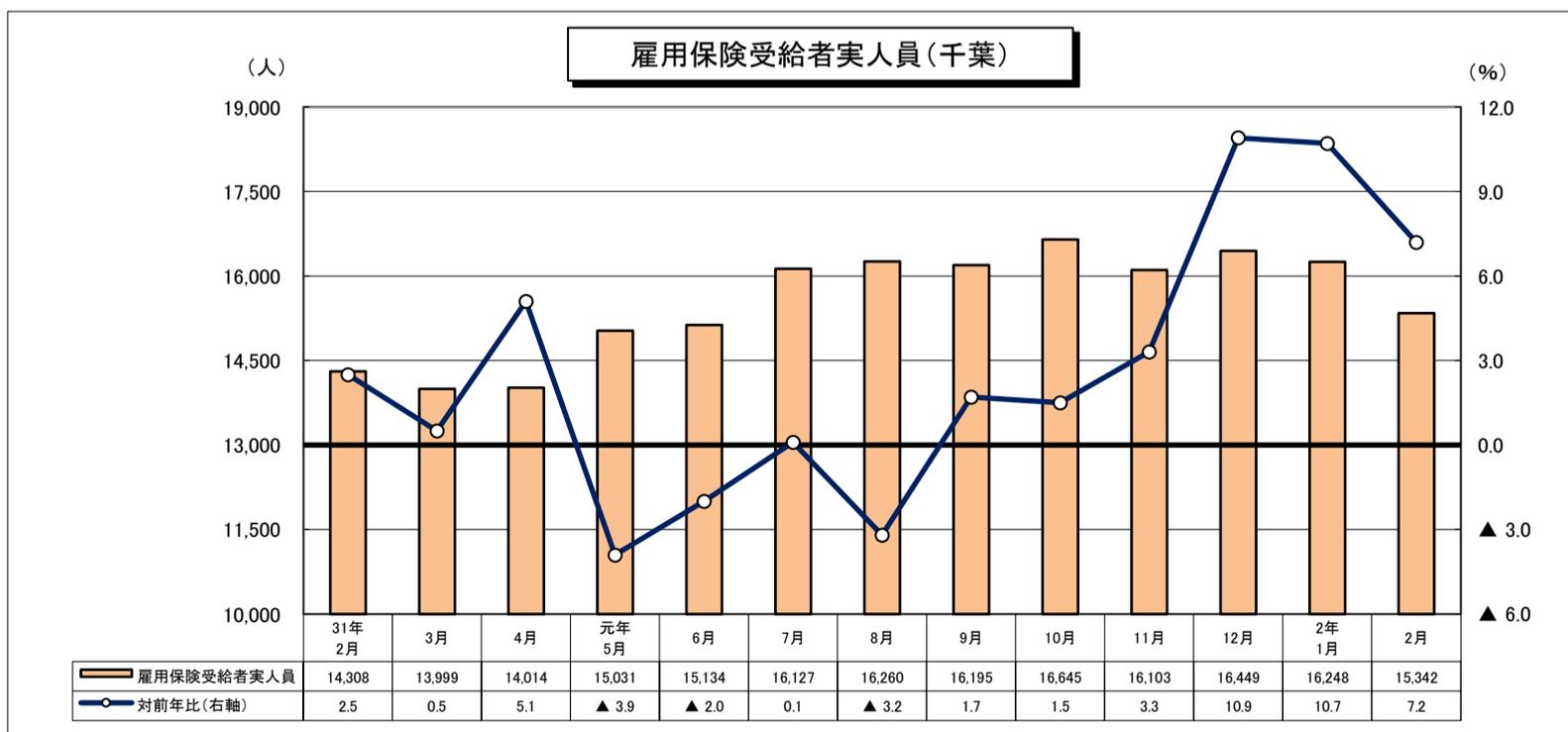


(注) 四半期は期中平均である。

[厚生労働省・千葉労働局]



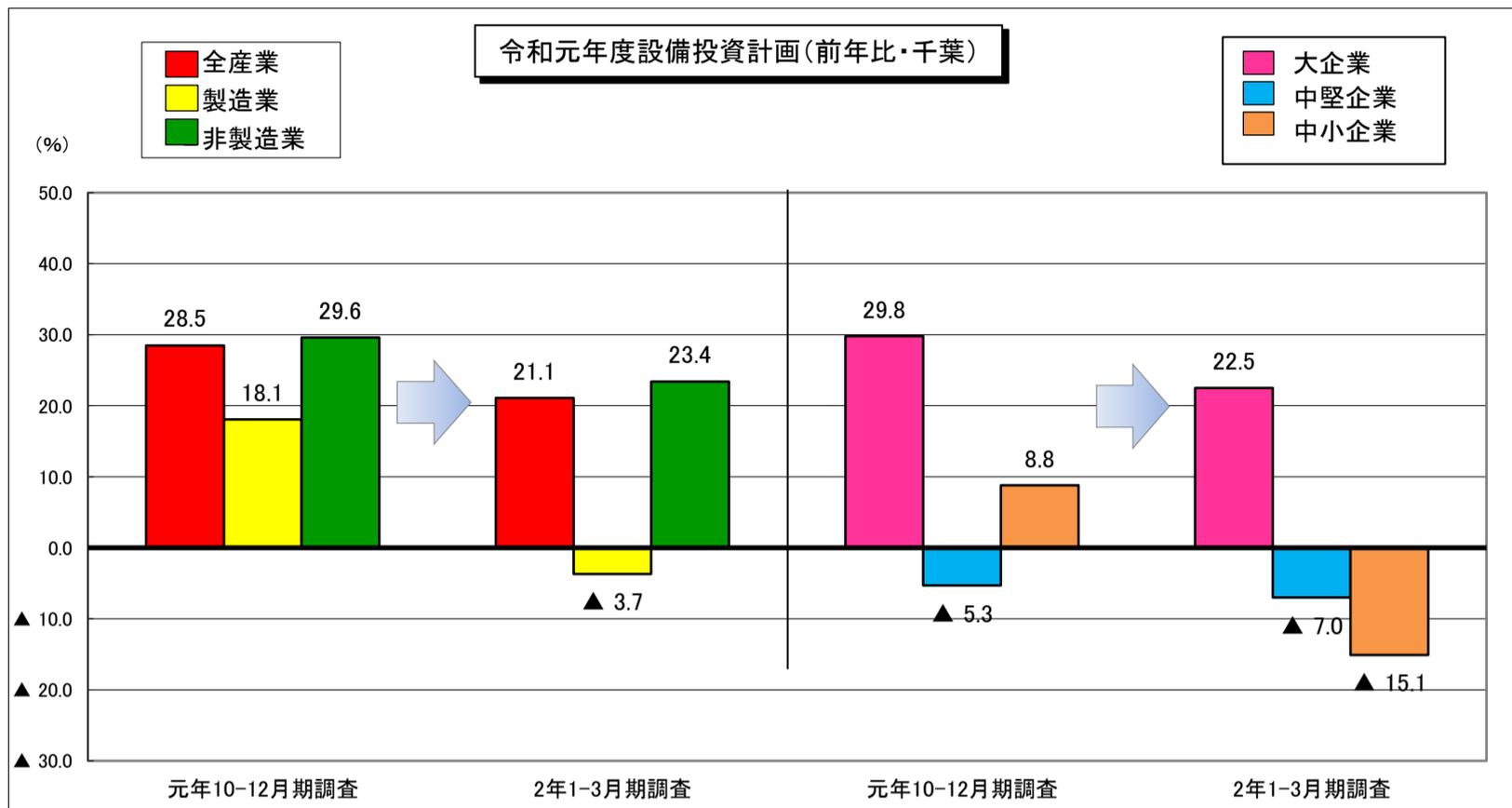
[千葉労働局]



[千葉労働局]

4. 設備投資

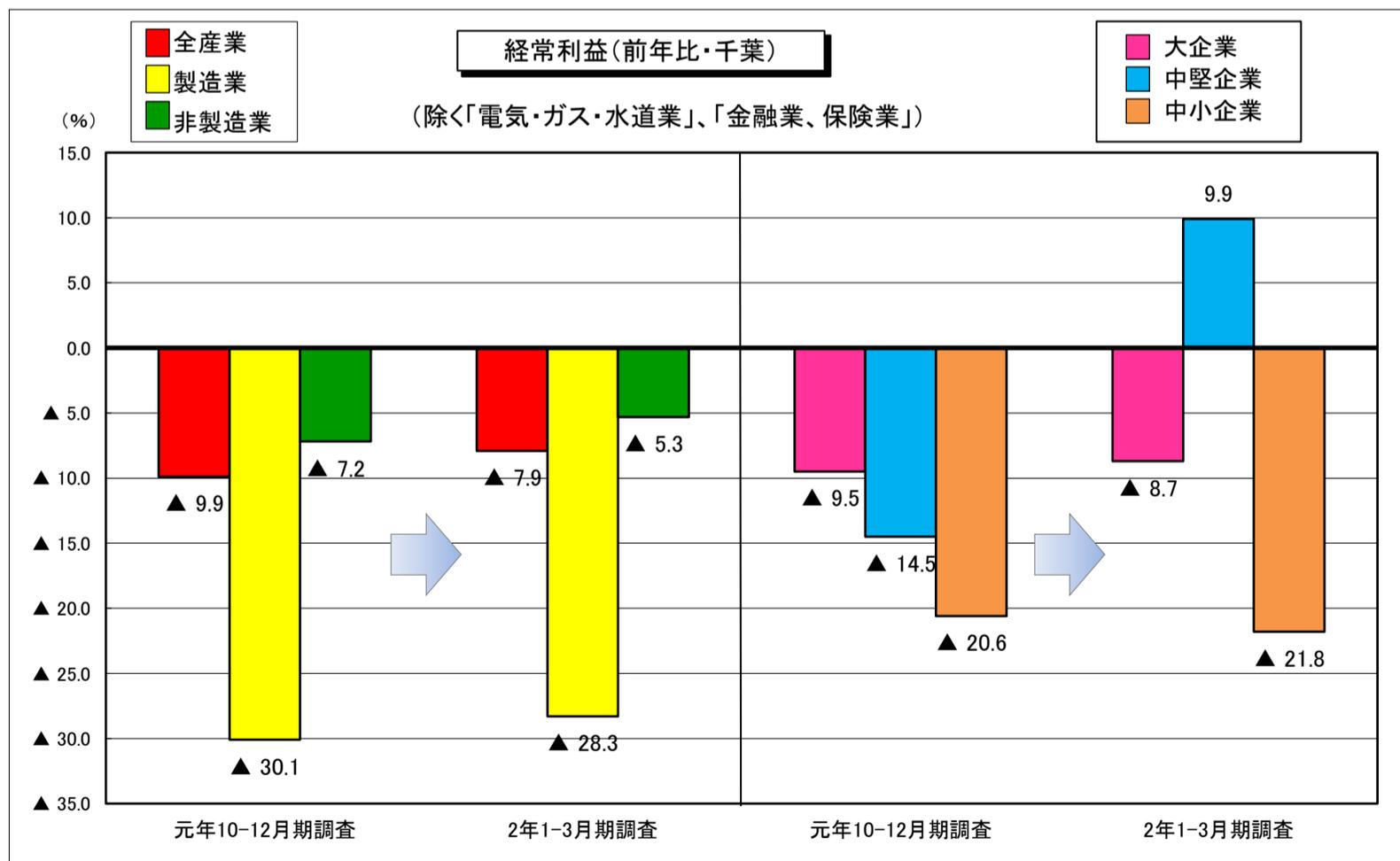
元年度は増加見込みとなっている。



[千葉財務事務所(法人企業景気予測調査)]

5. 企業収益

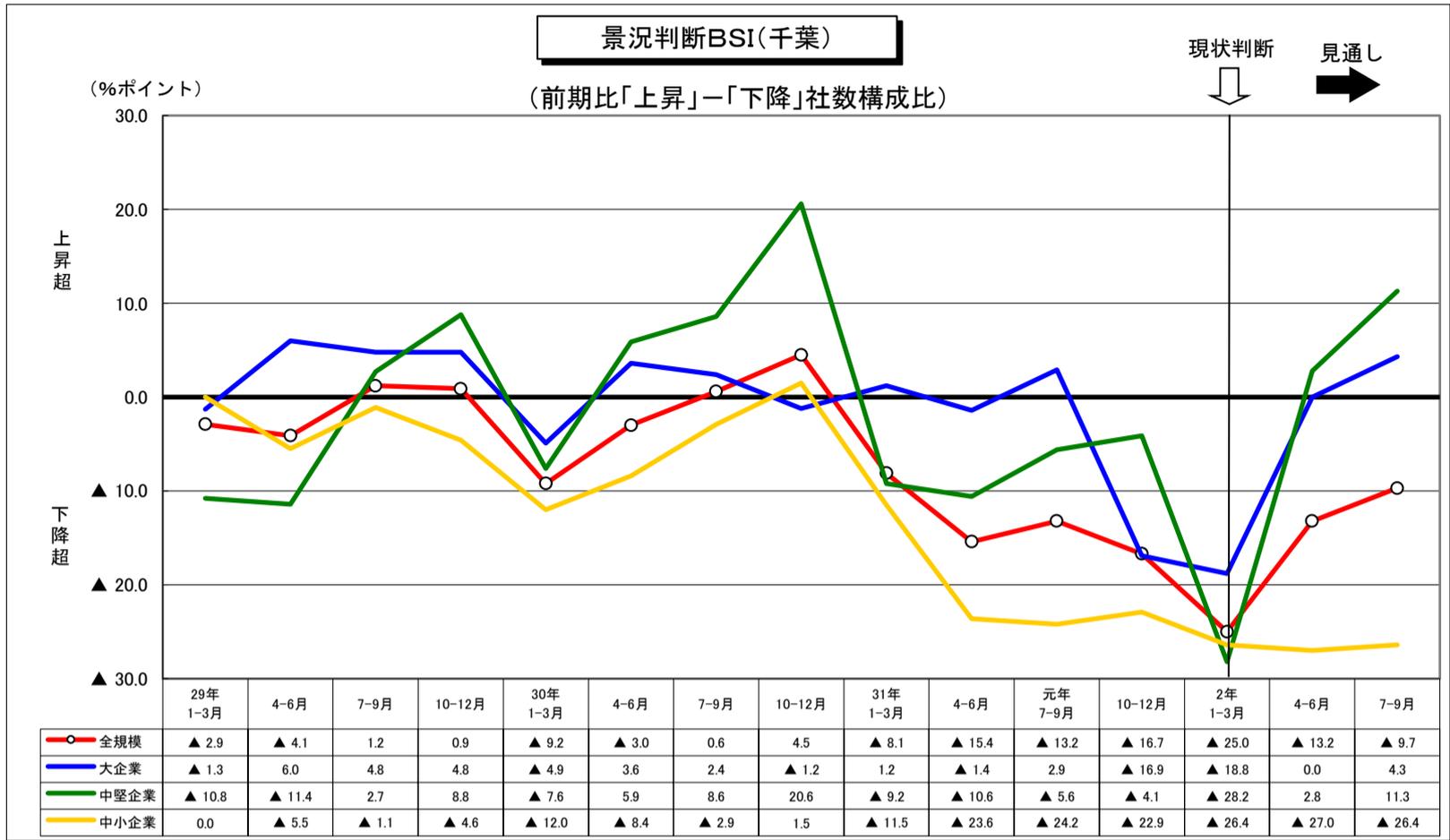
元年度は減益見込みとなっている。



[千葉財務事務所(法人企業景気予測調査)]

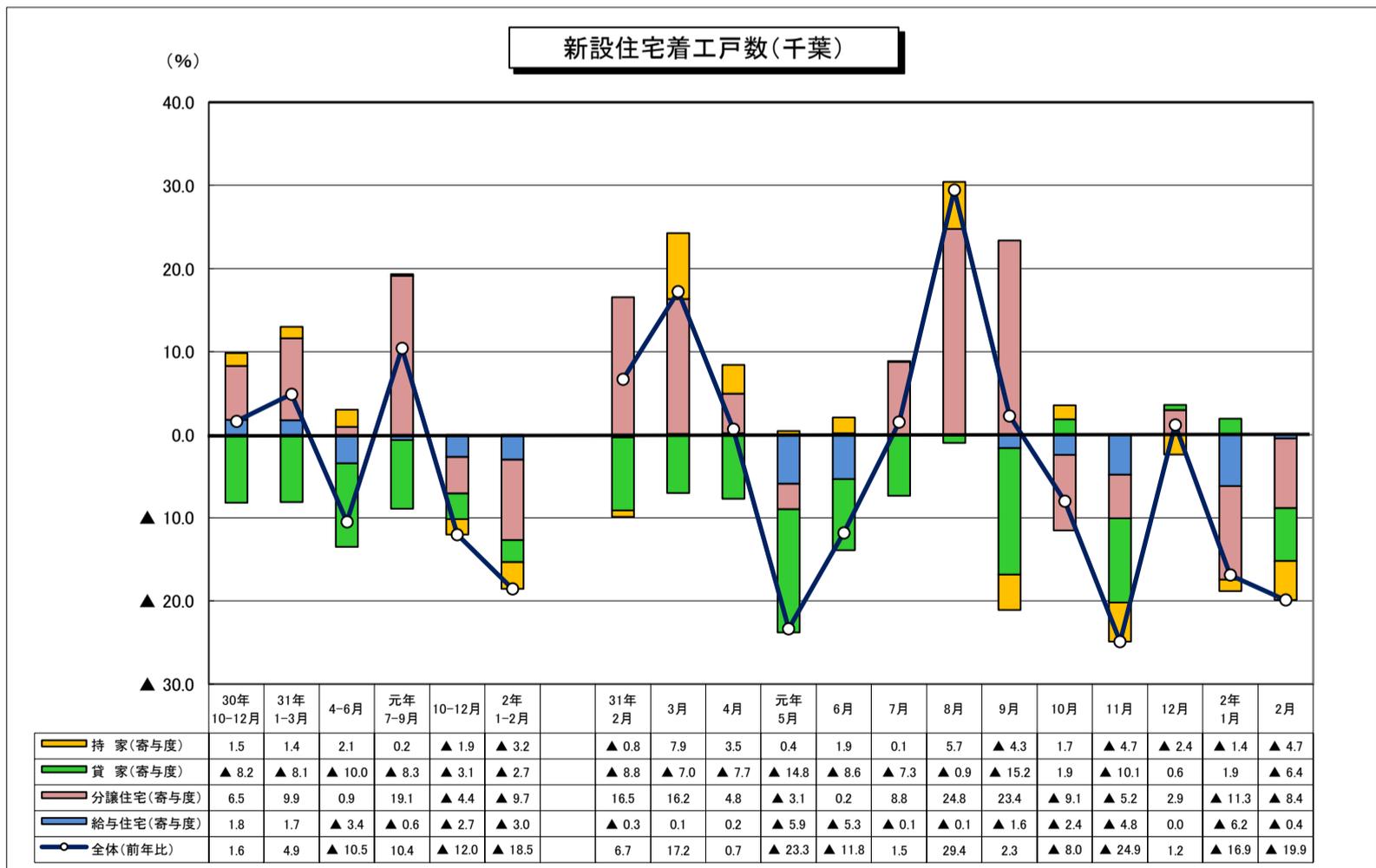
6. 企業の景況感

「下降」超で推移している。



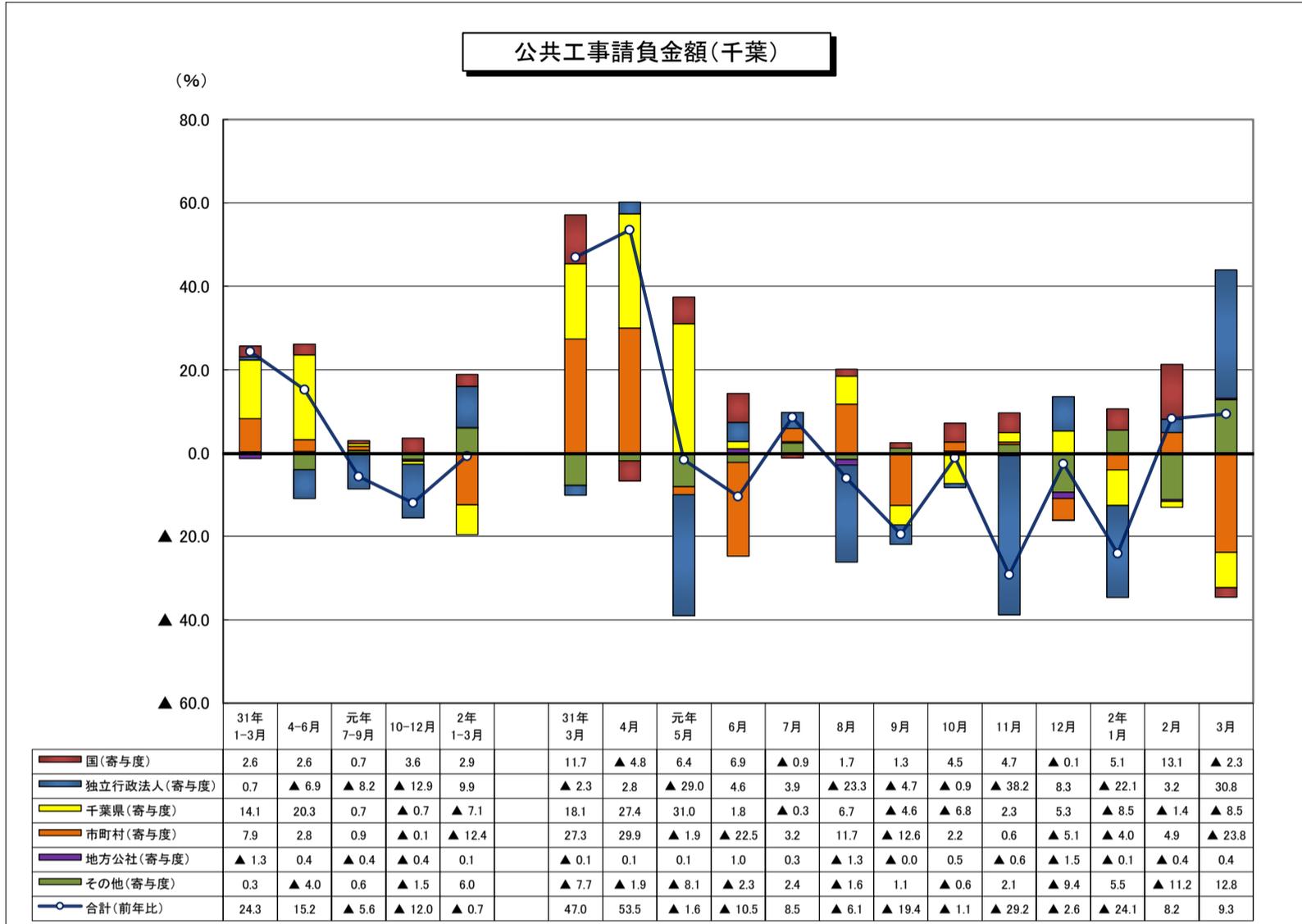
7. 住宅建設

前年を下回っている。



8. 公共事業

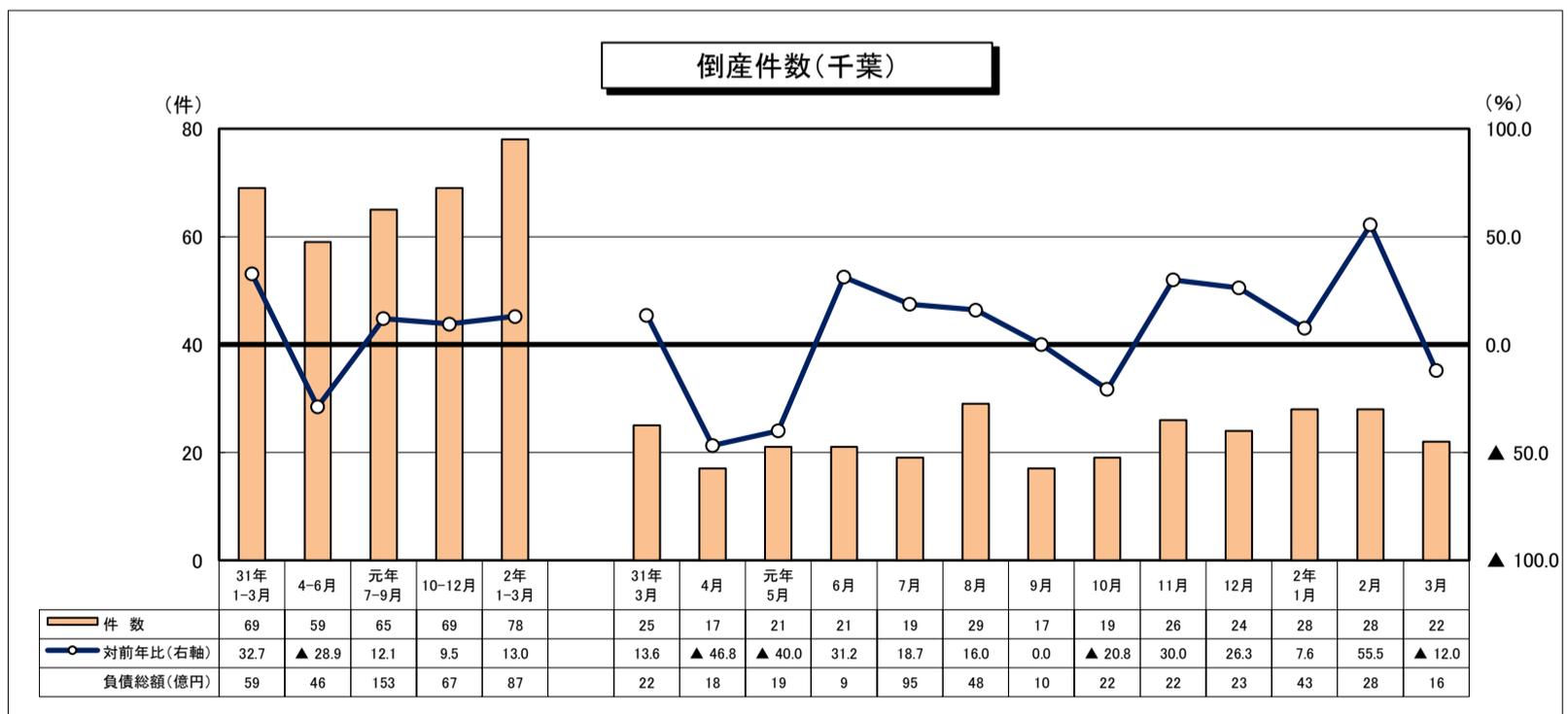
前年を下回っている。



[東日本建設業保証株式会社]

9. 倒産

前年を上回っている。



[東京商工リサーチ]